

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。



HUPO 2013 NEWSLETTER No. 3



HUPO 2013 Yokohama に向けて、HUPO 2013 横浜事務局より会員の皆様にHUPO 2013 Newsletter No.3 をお届けします。

【日本プロテオーム学会通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。ご意見を【日本プロテオーム学会通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】は、日本プロテオーム学会事務局 (cljhupo@secretariat.ne.jp)にお願いいたします。

開催まであと **336** 日

HUPO 2013 NEWSLETTER No. 3

Web site : <http://www.hupo2013.com>

山中伸弥先生
2012年ノーベル医学・生理学賞受賞
おめでとうございます

HUPO 2013 でのご講演が決まっている京都大学 iPS 細胞研究所所長 山中伸弥教授がノーベル医学・生理学賞を受賞されることになりました。iPS 細胞に関する研究が高く評価されての受賞です。

プロテオミクス分野でも iPS 細胞を対象とする研究が増えています。HUPO 2013での山中教授のご講演にご注目を。

■HUPO 2013 これまでの準備状況

8～9月 国際組織委員会委員からプログラムへの意見聴取を行いました。

9月 Second Circularを作成し、HUPO 2012 ポストン大会で配布しました。

■広報

HUPO 2012 ポストン大会

第11回ヒトプロテオーム機構(HUPO)世界大会(国際会議)は、2012年9月9日～13日に米国ポストンの Hynes Convention Center で開催されました。参加者は、45ヶ国以上からの約1,200名でした。これまでの大会(参加者1,500～2,000名)に比べると若干少なかったと思います。日本からは74名が参加しましたが、これは米国に次ぐ人数で、1大会での日

本人参加者数としては最多でした。例年参加者が多い中国や韓国からの参加者はそれぞれ20数名でした。協賛企業37社、展示ブースに出展していた企業は35社でした。

HUPO 2012では、HUPO 2013 国内組織委員会と PCO であるコンベンションリンケージが中心になって HUPO 2013 横浜大会のプロモーション活動を行いました。

1) 展示ブース:

HUPO 2012会場展示エリアに HUPO 2013の展示ブースを設置しました。ここで Second Circular, 宣伝用しおりおよび HUPO 2013 ポールペン(AB Sciex 社提供), 横浜のピンバッジ, 観光ガイド, 菓子などを配布しました。国内組織委員会委員, 多くの日本からの参加者が広報活動に協力して下さいました。



2) プロモーションビデオの放映と挨拶:

閉会セッションで、HUPO 2013 のプロモーション DVD を上映しました。また、上映後、平野 Chair、山本会長、朝長副会長、石濱庶務担当理事(いずれも国内組織委員会委員)が半被を着て登壇。来日を歓

迎する挨拶をしました。



3) 展示企業への協賛依頼：

会期中、国内組織委員会財務委員会尾野副委員長、戸田横浜事務局長、小寺広報委員長および平野Chairは、展示エリアで展示を行っていたすべての企業を訪ね、HUP0 2013への協賛をお願いしました。



主要企業のブース

■後援団体

これまでに下記の団体が HUP0 2013 を後援して下さることになりました。

1) 学会：アジア・オセアニアヒトプロテオーム機構、クロマトグラフィー科学会、日本医用マススペクトル学会、日本生化学会、日本質量分析学会、日本蛋白質科学会、日本電気泳動学会、日本分析化学会、日本医学会、日本腎臓学会、日本糖質学会、日本透析医学会、日本バイオインフォマティクス学会、日本分子生物学会

2) 公共団体等：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、神奈川県、横浜市、横浜市立大学、日本製薬工業協会

■財務

スポンサーシップ・募金趣意書(日本語版および英語版)を作成しました。運営資金集めにご協力をお願いいたします。スポンサーシップ・募金趣意書が必要な方は HUP0 2013 事務局にご連絡下さい。

参加者の登録料等の参加費用については HUP0 2013 のホームページに掲載しました。また、若手研究者、企業研究者、開発途上国若手研究者への参加費助成については検討中です。もうしばらくお待ち下さい。

■プログラム

セッションの構成、招待講演者、一般講演者、若手講演者については、現在、国際組織委員会委員などのアドバイスを基にプログラム委員会で検討しています。プログラム企画の状況を今後この NEWSLETTER でもお知らせしますので、ご意見がございましたら、HUP0 2013事務局にお送り下さいますようお願いいたします。

■ジョイント(プレコングレス)プログラム

本会議開会前の9月12~14日には横浜市立大学先端医科学研究センター新棟(福浦キャンパス)において、国内外の若手研究者(海外(主にアジア):約15名、国内約15名)を対象としたプロテオミクス・トレーニングコースが IAPSAP (International Association for Protein Structure Analysis and Proteomics)との共催で開催されます。現在、講師の選考を進めています。参加者募集要項は作成中です。もうしばらくお待ち下さい。

■「プロテオミクス・トレーニングコース」

日時：2013年9月12日(木)~14日(土)

場所：横浜市立大学先端医科学研究センター新棟

使用言語：英語

参加費：無料(研修生の選考があります)

9月14日には横浜情報文化センターにおいて一般市民を対象にした市民講座(使用言語：日本語)「たんぱく質と病気」が開催されます。

■市民講座「たんぱく質と病気」(仮題)

日時：2013年9月14日(土)

場所：横浜市情報文化センターホール(予定)

使用言語：日本語

参加費：無料

■ 来年9月まで会員の皆様に HUP0 2013 の準備状況を Newsletter としてお知らせします。HUP0 2013 を成功させるため、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。ご質問やご意見がございましたら、HUP0 2013 事務局にお送り下さいますようお願いいたします。

■ HUP0 2013 主な行事の予定

会期： 2013 年9月14日(土)～18日(火)

歓迎レセプション： 9月14日(土)

催し・懇親会：9月16日(月)

プロオーケストラによるクラシック音楽、歌手によるポピュラー音楽の演奏等を予定しています。

HUP0 総会： 9月18日(火)

場所： 横浜市 パシフィコ横浜

使用言語： 英語

■ 重要な日程

演題募集：

2012 年12月11日(火)～2013 年3月15日(金)

採択通知： 2013 年4月5日までに通知

参加登録：

【早期事前】 2013 年1月11日(金)～5月31日(金)

【事前】 2013 年6月1日(土)～8月30日(金)

■ 役割分担

国内組織委員会

Co-Chair： 平野 久、谷口直之、中村和行(兼 プログラム委員長)、山本 格(兼 会場委員長、市民講座担当)

事務局長： 石濱 泰

横浜事務局長： 戸田年総(兼 登録委員長)

委員： 荒木令江

磯辺俊明(総務委員長)

大石正道(宿泊・旅行委員長)

尾野雅哉(募金・財務副委員長)

加藤智啓

木下英司

小寺義男(広報委員長、兼 トレーニングコース事務局担当)

小林章一

近藤 格(展示委員長)

榊原陽一

坂口和靖(トレーニングコース担当)

高尾敏文

高橋信弘

朝長 毅

中山敬一

成松 久(プログラム副委員長)

野村文夫(プログラム副委員長)

服部成介

三ツ井敏明

山田哲司(募金・財務委員長)

横田博之

和田芳直

■ PCO 運営事務局：

株式会社コンベンションリンケージ

■ 旅行・宿泊担当：

JTB グローバルマーケティング&トラベル

■ 協力

横浜観光コンベンションビューロー

HUP0 2013 NEWSLETTER No.3

発行日 2012 年10 月10 日

発行 HUP0 2013

横浜事務局 平野 久・戸田年総

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学先端医科学研究センター

運営事務局 株式会社コンベンションリンケージ

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2 番地

三番町 KS ビル

TEL: +81-3-3263-8695

FAX: +81-3-3263-8693

E-mail: hupo2013@c-linkage.co.jp